

間接工事費等諸経費動向調査

Q & A

発注者用

目次【発注者】

全般に関わる質問	・ ・ ・ ・ ・ 2
『工事情報』シート	・ ・ ・ ・ ・ 5
『一般事項』シート	・ ・ ・ ・ ・ 7
『工事費』シート	・ ・ ・ ・ ・ 8
『工期』シート	・ ・ ・ ・ ・ 11
『施工環境』シート	・ ・ ・ ・ ・ 14
『二次製品』シート	・ ・ ・ ・ ・ 16
『準備費』シート	・ ・ ・ ・ ・ 17
『積算方式』シート	・ ・ ・ ・ ・ 18
『確認』シート	・ ・ ・ ・ ・ 19
『チェック』シート	・ ・ ・ ・ ・ 20

全般に関わる質問

Q.回収した調査票はそちらに送っても良いのか。

A.Repoboxに登録の上提出してください。

Q.データを紛失した。

A.再ダウンロードをお願い致します。

Q.サイトがブロックされて調査票をダウンロード又はアップロードできない。

A. 所属事務所等のセキュリティシステムが原因の可能性あります。セキュリティシステムがダウンロードを阻害している場合は弊社にお問い合わせ下さい。

全般に関わる質問

Q.対象工事が不調になった。

A.整理番号を確認の上、弊社までご連絡下さい。

Q.対象工事か分からない。

A.弊社までご連絡下さい。その際は工事名、5ケタの整理番号（1 建設、2 港湾、3 空港、4 農水、5 下水、7 高速、8 都市）を教えてください必要があります。

Q.地方自治体で土地改良工事をしたのだが、ダウンロードする調査票は農水でいいのか。

A.配布されている封筒に記載されていますので、ご確認ください。

Q.調査票エクセルデータのパスワードを教えてください。

A.改ざん防止及び調査票破損防止のためシートのパスワードはお伝えできません。

全般に関わる質問

Q.操作が正しいのに関数部分の入力値が反映されない（各シート共通）。

A.数式タブの計算方法が「手動」になっていないか確認して下さい。「手動」の場合は、「自動」に設定し直し、「再計算実行」を行うと反映される場合があります。

Q.チェックリストはどこに“○”をつけるのか。

A.発注者欄の該当箇所です。

『工事情報』シート

Q.工事請負者選定の工事種別とは何か。

A.発注時に工事請負者を選定する際の工事種別（一般土木工事等）であり、積算工種ではありません。
該当が無い場合はその他を選択し、具体的工種を記入して下さい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	
2	工事情報								
3									
4	工事名		※						
5	所管名(1)		※	1:国土交通省(建設)					
6	所管名(2)		※						
7	フリガナ		※						
8	請負業者名		※						
9	最終工事請負金額(消費税込)		※					(単位:千円)	
10	うち消費税		※					(単位:千円)	
11									
12	工事請負者選定の工事種別			一般土木工事					
13	【その他の場合の記入欄】								
14	当初工事請負金額(消費税込)		※					(単位:千円)	
15	うち消費税		※					(単位:千円)	
16	当初工事価格 (当初工事請負金額-消費税)							(単位:千円)	
17	当初積算工事価格		※					(単位:千円)	
18	当初落札率 (当初工事価格/当初積算工事価格)							%	
19	一般管理費等の前払い金支出割合		※						
20	契約工期(当初)		(自) 和暦	※					年 月 日
21				※					
22			(至) 和暦	※					年 月 日
23				※					
24				※					年 月 日
25				※					
26	契約工期(最終)		(至) 和暦	※					年 月 日
27				※					
28				※					
29				※					
30									
31	工事成績評点		評定点計	※					点
41			法令遵守等	※					点
42			評定点合計	※					点
43									
44	実施方式【総価契約単価合意方式の場合のみ記入】								
45									
46	スライドの有無		※						
47	スライドの種類								
48	スライドの実施回数		単品					回	
49			全体・インフレ					回	
50	適用開始日		第1回						
51	【単品スライドの場合】		第2回						
52			第3回						
53	基準日		第1回						
54	【全体・インフレスライドの場合】		第2回						
55			第3回						
56			第4回						
57									
58									
59									
60									
61									
62									
63									
64									
65									
66									
67									
68									
69									
70									
71									
72									
73									
74									
75									
76									
77									
78									
79									
80									
81									
82									
83									
84									
85									
86									
87									
88									
89									
90									
91									
92									
93									
94									
95									
96									
97									
98									
99									
100									

『工事情報』シート

Q. 契約工期にエラーが出る。

A. 当初工期末日付より最終工期末日付が前（工期の短縮）になった場合にエラーが表示されます。

当初工期（至）の日付に最終工期（至）の日付を記入して下さい。

	A	B	C	D	E	F	G	H
2	工事情報							
3								
4	工事名				※			
5	所管名(1)				※	1:国土交通省(建設)		
6	所管名(2)				※			
7	フリガナ				※			
8	請負業者名				※			
9	最終工事請負金額(消費税込)				※	(単位:千円)		
10	うち消費税				※	(単位:千円)		
11								
12	工事請負者選定の工事種別				※	一般土木工事		
13	「その他」の場合の記入欄				※			
14	当初工事請負金額(消費税込)				※	(単位:千円)		
15	うち消費税				※	(単位:千円)		
16	当初工事価格 (当初工事請負金額-消費税)				※	(単位:千円)		
17	当初積算工事価格				※	(単位:千円)		
18	当初落札率 (当初工事価格/当初積算工事価格)				※	%		
19	一般管理費等の前払い金支出割合				※			
20	契約工期(当初)				(自) 和暦	※	年 月 日	
21					(至) 和暦	※	年 月 日	
22					(至) 和暦	※	年 月 日	
23					(至) 和暦	※	年 月 日	
24					(至) 和暦	※	年 月 日	
25					(至) 和暦	※	年 月 日	
26	契約工期(最終)				(至) 和暦	※	年 月 日	
27					(至) 和暦	※	年 月 日	
28					(至) 和暦	※	年 月 日	
29					(至) 和暦	※	年 月 日	
30					(至) 和暦	※	年 月 日	
31					(至) 和暦	※	年 月 日	
32					(至) 和暦	※	年 月 日	
33					(至) 和暦	※	年 月 日	
34					(至) 和暦	※	年 月 日	
35					(至) 和暦	※	年 月 日	
36					(至) 和暦	※	年 月 日	
37					(至) 和暦	※	年 月 日	
38					(至) 和暦	※	年 月 日	
39					(至) 和暦	※	年 月 日	
40					(至) 和暦	※	年 月 日	
41	工事成績評点				評定点計	※	点	
42					法令遵守等	※	点	
43					評定点合計	※	点	
44					評定点合計	※	点	
45	実施方式【総価契約単価合意方式の場合のみ記入】				※			
46					※			
47	スライドの有無				※			
48	スライドの種類				※			
49	スライドの実施回数				※			
50					※			
51	適用開始日				※			
52	【単品スライドの場合】				※			
53					※			
54	基準日				※			
55	【全体・インプレスライドの場合】				※			
56					※			
57					※			
58					※			
59					※			
60					※			
61					※			
62					※			
63					※			
64					※			
65					※			
66					※			
67					※			
68					※			
69					※			
70					※			
71					※			
72					※			
73					※			
74					※			
75					※			
76					※			
77					※			
78					※			
79					※			
80					※			
81					※			
82					※			
83					※			
84					※			
85					※			
86					※			
87					※			
88					※			
89					※			
90					※			
91					※			
92					※			
93					※			
94					※			
95					※			
96					※			
97					※			
98					※			
99					※			
100					※			

『一般事項』シート

Q.設計書コードとは。

A.該当工事の設計書に記載されている番号を確認してください（設計書右上に数ケタの番号で記載されている機関が多いです）。
※契約番号では無いので注意が必要です。

	A	B	C	D	E	F
17						
18	II 一般事項					
19	工種コード				※	
20	施工場所コード				※	
21	CORINS登録番号				※	
22	設計書コード				※	
23	発注年度				※	
24	工事概要				※	
25						
26						
27						
28	III 施工地域					
29	都道府県名				※	
30	市区町村名				※	
31						
32	IV 共通仮設費率の補正					
33	施工地域の補正				※	
34	「一般交通影響有り(1)<(2)>」を 選択した場合、市街地(DID地区)か					
35	「山間僻地及び離島」の場合、 「山間僻地」または「離島」を選択					
36	復興係数による補正 (岩手県、宮城県、福島県)				※	
37	復興係数による補正(熊本県)				※	
38	復興係数による補正(広島県)				※	
39	週休2日補正				※	
40	除雪工事補正の有無				※	
41	補正係数・区分 (補正有の場合に入力)					
42	ICT補正				※	
43	上記以外の補正(名称)					
44	補正係数(×)					
45	補正値(+ %)					
46	上記以外の補正(名称)					
47	補正係数(×)					
48	開始画面 工事情報 一般事項 工事費 工期 施工環境 二次製品 二次製品(LED照明)					

『工事費』シート

Q. 直接工事費の合計額と内訳が一致しない。

A. 四捨五入の関係で相違がある可能性がありますので確認して下さい。合計金額に合うように調整してください。

A. 内訳と合計の差が大きい場合は、直接工事費に共通仮設費の積上分が含まれている可能性がありますので、確認して下さい。

例) (1) 材料費に工場製作分が含まれている。

また、(3) 労務費に交通誘導員が含まれていないか確認して下さい。(交通誘導員は、労務費の内数となっています。)

A. (7) 施工パッケージについては、直接工事費に金額が反映されないため(内数のため)、設計書から材料費、労務費、機械器具等損料が割り出せる場合はそれぞれの項目へ入力し、分解が出来ない場合は(7) その他へ含めます。

I 工事費内訳		『最終積算金額』を入力して下さい。 (注)消費税抜きで記入してください。		金額単位:千円
費目	種	算		
① 直接工事費	*			
(1) 材料費	*			
(2) 支給品費	*			※ 直接工事費には含まない
(3) 労務費	*			
1) 交通誘導警備員A	*			※ 労務費の内数
2) 交通誘導警備員B	*			※ 労務費の内数
(4) 機械器具等損料	*			
(5) 無償貸付機械等評価額	*			※ 直接工事費には含まない
(6) 土木工事標準単価及び市標準価	*			
(7) その他	*			
1) 処分費(7)その他のうち、処分費)	*			
② 間接工事費			0	
(1) 共通仮設費			0	
1) 共通仮設費 (積上げ分)			0	
イ 運搬費	*			
ロ 準備費			0	
A 準備費	*			
B 処分費等	*			
ハ 事業損失防止施設費	*			※ H27以前発注工事の場合
ニ 安全費	*			安全費の内、交通誘導警備員の計上
A 墮落制止用器具(フルハーネス)費用	*			
「ニ 安全費」のうち、墮落制止用器具(フルハーネス)費用	*			
ホ 役務費	*			

『工事費』シート

Q. 共通仮設費積算対象金額が自動計算値と合わない。

A. 設計書の共通仮設費積算対象金額と、調査票の自動計算値は通常一致しますが、単価合意等を行っているとは一致しない場合があります。入力に間違いが無ければ、「確認」シートの理由欄にその旨を記載して下さい。

A. 自動計算値がマイナスになる場合は、管理区分別費用に工場製作費に関する費用が含まれている可能性があります。これらが含まれていると、共通仮設費対象金額が減り、結果マイナスとなります。工場製作関係の費用は含めないようにして下さい。

54	(電気通信設備工事の場合は、機器本体費)		
55	⑤ 別途調査等工事価格		93,470
56	⑥ 工事価格		372,940
57			
58	共通仮設費積算対象金額		178,849
59	共通仮設費積算対象金額(自動計算値)		178,849
※共通仮設費積算対象金額の自動計算値は、下記により算出しています。 「①直接工事費」+「②支給材料費」+「⑤無償貸付機械等評価額」+「⑧事業損失防止施設費」 +「⑦(直営工事)区分費」+「(管理費区分)区分費」+「(管理費区分)区分費」+「(管理費区分)区分費」+「(管理費区分)区分費」			
開始画面 工事情報 一般事項 工事費 工期 施工環境 二次製品 二次製品(LED照明) 準備費 積算方式 ICT 確認			

基本的にこの
2つの項目は
数字が一致or
近似します。

確認
シート

『工事費』シート

Q. 施工パッケージ型積算の材料費など内訳はどうすればいいか（施工パッケージの欄がない）。

A. 市場単価又はその他に振り分けます。チェックシートで元請の実績額と積算額で大きなズレが生じる場合がありますが、その場合は確認結果欄に理由を記載して下さい。

I 工事費内訳		『最終積算金額』を入力して下さい。 (注)消費税抜きで記入してください。		金額単位:千円
費 目		積 算		
①	直接工事費	※		
(1)	材料費	※		
(2)	支給品費	※		※ 直接工事費には含まない
(3)	労務費	※		
1)	交通誘導警備員A	※		※ 労務費の内数
2)	交通誘導警備員B	※		※ 労務費の内数
(4)	機械器具等損料	※		
(5)	無償貸付機械等評価額	※		※ 直接工事費には含まない
(6)	土木工事標準単価及び市場単価	※		
(7)	その他	※		
1)	処分費(7)その他のうち、処分費	※		
②	間接工事費			0
(1)	共通仮設費			0
1)	共通仮設費 (積上げ分)			0
イ	運搬費	※		
ロ	準備費			0
A	準備費	※		
B	処分費等	※		
ハ	事業損失防止施設費	※		※ H27以降発注工事の場合
ニ	安全費	※		安全費の内、交通誘導警備員の計上
A	墜落制止用器具(フルハーネス)費用	※		
「ニ 安全費」のうち、墜落制止用器具(フルハーネス)費用		※		
ホ	役務費	※		

開始画面 工事情報 一般事項 工事費 工期 施工環境 二次製品 二次製品(LED照明) 準備費 積算方式 ICT 感染対策 確認 元請調査データ チェック 費確認一覧表

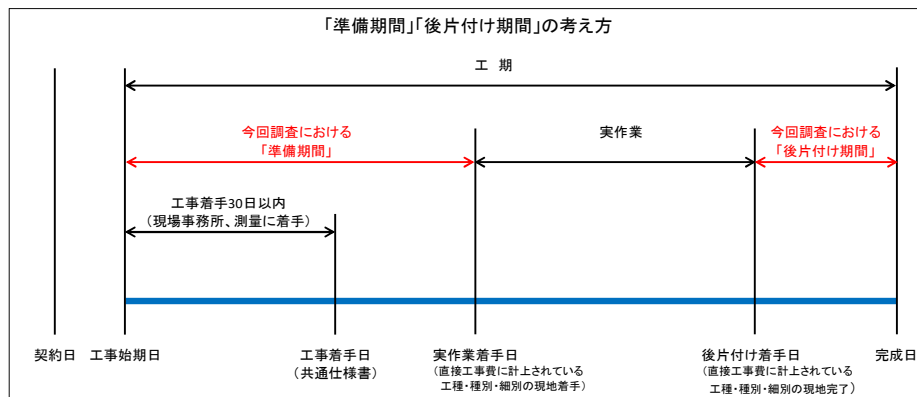
チェック
シート

『工期』シート

Q.設定作業日数とは何か。

A.当初及び最終時に作成した工程表を確認してください。
(参考図を参照)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	T	
2	工事名																		
3																			
4	余裕期間についての調査票																		
5																			
6																			
7	① 余裕期間の有無 ※																		
8	② 余裕期間の方法																		
9	③ 工期(発注時)契約工期の結期 年 月 日																		
10	④ 工期(発注時)実工期の結期 年 月 日																		
11	⑤ 工期(発注時)の許期 年 月 日																		
12	⑥ 工期(契約時)契約工期の結期 年 月 日																		
13	⑦ 工期(契約時)実工期の結期 年 月 日																		
14	⑧ 工期(契約時)の許期 年 月 日																		
15																			
16	工期についての調査票																		
17																			
18	① 設定作業日数 ※ 日																		
19	② 設定作業不能日数 ※ 日																		
20	③ 設定準備期間日数 日																		
21	④ 設定後片付け期間日数 日																		
22	⑤ 想定した作業不能の要因																		
23	a. 該当するものを選択して下さい。																		
24	下記より理由を選択リストで入力																		
25	(複数回答可)																		
26	1. 降雨 2. 降雪 3. 風 4. 波浪 5. その他																		
27																			
28	b. その他の内容を具体的にお書き下さい。																		
29	⑥ 設定休日数 0 日																		
30	⑦ 休日の内訳																		
31	a. 土曜日曜日の設定休日数 ※ 日																		
32	(4週 ※ 体で工期設定)																		
33	b. 祝日休の設定休日数 ※ 日																		
34	(この内日曜休・土曜休の日数)																		
35	c. 年末年始の設定休日数 ※ 日																		
36	(この内日曜休・土曜休・祝日休の日数)																		
37	d. 3〜ルチワイの設定休日数 ※ 日																		
38	(この内日曜休・土曜休・祝日休の日数)																		
39	e. 真休みの設定休日数 ※ 日																		
40	(この内日曜休・土曜休・祝日休の日数)																		
41	f. その他 ※ 日																		
42	(具体的内容)																		
43	⑧ 全面中止日数 ※ 日																		
44	⑨ 部分中止日数 ※ 日																		
45																			
46																			
47																			
48	※日数入力箇所該当がない場合は0を入力してください。																		
	開始画面 工事情報 一般事項 工事費 工期 施工環境 二次製品 二次製品 (LE																		



参考図

『工期』シート

Q. 余裕期間をNOにするとエラーが出る。

A. NOにすると以下入力不要と表示されます。内容を入力していた場合は削除して下さい。

「以下入力不要」の文字が途中で切れてしまう場合があります。入力不要の文字が途中で切れてしまっても、問題が無いので、そのまま進めて頂いても、結構です。

※2019年2月1日以前にダウンロードしている場合に表示されます。（現在の調査票は修正されています。）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	T	
2																			
3	工事名																		
4																			
5	余裕期間についての調査票																		
6																			
7	① 余裕期間の有無 ※																		
8	② 余裕期間の方法																		
9	③ 工期(発注時)契約工期の始期																		
10	④ 工期(発注時)実工期の始期																		
11	⑤ 工期(発注時)の終期																		
12	⑥ 工期(契約時)契約工期の始期																		
13	⑦ 工期(契約時)実工期の始期																		
14	⑧ 工期(契約時)の終期																		
15																			
16	工期についての調査票																		
17																			
18	① 設定作業日数 ※																		
19	② 設定作業不能日数 ※																		
20	③ 設定準備期間日数																		
21	④ 設定後片付期間日数 ※																		
22	⑤ 想定した作業不能の要因																		
23	a. 該当するものを選択して下さい。																		
24	下記より理由を選択しリストで入力																		
25	(複数回答可)																		
26	1. 降雨 2. 降雪 3. 風 4. 波浪 5. その他																		
27																			
28	b. その他の内容を具体的に書き下さい。																		
29	⑥ 設定休日数 0日																		
30	⑦ 休日の内訳																		
31	a. 土曜日曜日の設定休日数																		
32	(4週 ※ 休で工期設定)																		
33	b. 祝日休の設定休日数																		
34	(この内日曜休・土曜休の日数 ※ 日)																		
35	c. 年末年始の設定休日数																		
36	(この内日曜休・土曜休・祝日休の日数 ※ 日)																		
37	d. 3連休の設定休日数																		
38	(この内日曜休・土曜休・祝日休の日数 ※ 日)																		
39	e. 真休みの設定休日数																		
40	(この内日曜休・土曜休・祝日休の日数 ※ 日)																		
41	f. その他																		
42	(具体的内容 ※ 日)																		
43	(この内日曜休・土曜休・祝日休の日数 ※ 日)																		
44	⑧ 全面中止日数 ※																		
45	⑨ 部分中止日数 ※																		
46																			
47	*日数入力箇所該当がない場合は0を入力してください。																		
48																			

開始画面 工事情報 一般事項 工事費 工期 施工環境 二次製品 二次製品 (LE

『工期』シート

Q.検査期間を設けたのだが、工期に含めるのか。

A.工事の検査期間は工期から工期日を入れて14日以内の行うことになっており、年度末工期以外は工期前完成を除き、工期より後に検査を行うため、工期に含めません。年度末工期の場合及び工期前完成の場合は工期内に検査を行う場合があるため、工期に含まれる場合があります。

Q.休日の内訳の記載方法は。

A.通常工事であれば、工事期間のカレンダーを参照します（維持工事では「0」になる場合もあります）。

『施工環境』シート

Q. センサス番号は何を書くのか。

A. 代表区間の道路交通センサス番号（11桁）を記載して下さい。市町村道で道路交通センサス番号が無い場合には、交通量→0台 センサス番号→無しと記載して下さい。

区分	YES / NO
1 積雪寒冷地域	※
2 工事場所が現道上、あるいは現道の側で、交通規制を伴う一般交通の影響を受けた。	※
YESの場合：車線の形態 供用形態 日交通量(最新センサスデータ) 交通量調査基本区間番号(センサス番号)11桁	台/日
下記より規制方法を選択しリストで入力 (複数回答可) 1. 全面通行止め(常時) 2. 全面通行止め(一時) 3. 片側交互通行規制 4. 車線規制 5. 路肩規制 6. 歩道規制	規制方法1: 規制方法2: 規制方法3: 規制方法4: 規制方法5: 規制方法6:
3 工事現場の50m以内に人家(民家、商店、ビル等)が連なっている所があった。	※
4 地下埋設物の調査、移設、切り直し作業があった。	※
YESの場合：作業日数	日
5 地元説明が何度も必要であった。	※
YESの場合：説明回数	回
6 他官庁(警察・道路管理者等)他企業(NTT、電力会社等)との協議事項があり一般工事に比べ社員の拘束が多い工事であった。	※
YESの場合：理由を入力	
7 契約日から着手指定日まで30日以上あった。	※
YESの場合：実日数	日
下記より理由を選択しリストで入力 (複数回答可) 1. 占用許可 2. 使用許可 3. 用地取得 4. 地元説明 5. 概算概略発注 6. その他 (その他の例：設計成果の遅延及び事前調査不足による)	理由1: 理由2: 理由3: 理由4: 理由5: 理由6: その他の場合入力
8 工事中止命令があった。	※
YESの場合：工事中止命令に伴う工期延滞日数	日
YESの場合：理由を入力	
稼算に用いた一時中止に伴い増加する現場経費率	%
9 緊急工事	※
「補正有り」とした理由を入力	
稼算に用いた緊急時補正率	%

※代表路線の

開始画面 工事情報 一般事項 工事費 工期 施工環境 二次製品 二次製品(LED照明) 準備費

『施工環境』シート

Q. 供用形態とは。

A. 「工事場所が現道上、あるいは現道の側で、交通規制を伴う一般交通の影響を受けた。」で「YES」を選択した場合に記入する項目です。『車線の形態』、『供用形態』及び『最新道路交通センサスにおける日交通量』、『交通規制方法』を記入します。

『供用形態』には記入例のように、『2/4車線』、『1/2車線』、『片側2車線』などを記入して下さい。

区分	YES/NO		
1 積雪寒冷地域	※		
2 工事場所が現道上、あるいは現道の側で、交通規制を伴う一般交通の影響を受けた。	※		
YESの場合: 車線の形態			
供用形態			
日交通量(最新センサスデータ)			台/日
交通量調査基本区間番号(センサス番号)11桁			
下記より規制方法を選択しリストで入力			
(複数回答可)			
1. 全面通行止め(常時) 2. 全面通行止め(一時) 3. 片側交互通行規制 4. 車線規制 5. 路肩規制 6. 歩道規制			
規制方法1:			
規制方法2:			
規制方法3:			
規制方法4:			
規制方法5:			
規制方法6:			
3 工事現場の50m以内に人家(民家、商店、ビル等)が連なっている所があった。	※		
4 地下埋設物の調査、修設、切り回し作業があった。	※		
YESの場合: 作業日数			日
5 地元説明が何度も必要であった。	※		
YESの場合: 説明回数			回
6 他官庁(警察・道路管理者等)他企業(NTT、電力会社等)との協議事項があり一般工事に比べ社員の拘束が多い工事であった。	※		
YESの場合: 理由を入力			
7 契約日から着手指定日まで30日以上あった。	※		
YESの場合: 実日数			日
下記より理由を選択しリストで入力			
(複数回答可)			
1. 占用許可 2. 使用許可 3. 用地取得 4. 地元説明 5. 概算概略発注 6. その他			
理由1:			
理由2:			
理由3:			
理由4:			
理由5:			
理由6:			
(その他の例: 設計成果の遅延及び事前調査不足による)			
その他の場合入力			
8 工事中止命令があった。	※		
YESの場合: 工事中止命令に伴う工期延期日数			日
YESの場合: 理由を入力			
積算に用いた一時中止に伴い増加する現場経費率			%
9 緊急工事	※		
「補正有り」とした理由を入力			
積算に用いた緊急時補正率			%

※代表路線の

開始画面 工事情報 一般事項 工事費 工期 施工環境 二次製品 二次製品(LED照明) 準備費

『二次製品』シート

Q.ここに挙げるべき二次製品とは何か。

A. 1～31までに該当する二次製品（別途計上の工場製作品以外）です。

A.上記に該当しないもので率計上の対象としている金額の大きな特注品を記入して下さい。

B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
1.当該二次製品材料費				『工事費』の『材料費』		0										
実際に用いた数量で、共通原価計算の対象扱いとしているが、共通原価計算中に影響を与えると考えられる以下に該当する品目について入力してください。				前記二次製品材料費の合計		0										
		理由記載欄														
1 鋼板（フラット）																
2 フレキシャー・チカルバート（フィラーク・リノック等の製品名）																
3 フレキシャー・ス／レンボ（リノック）素材の製品名																
4 PDSノシエクター（リノック）素材の製品名																
5 PDS面																
6 シンダ機用のPDS																
7 フレキシャー・ボックスカバルバート（内径4m×6m以上・厚さ60の標準）																
8 フレキシャー・ボックスカバルバート（RØ754×21923MMへの規格を超えるもの）																
9 大型分節式フレキシャー・ボックスカバルバート 全て（RØ754×21923MMへの規格を超えるもの）																
10 押置型（鋼線鉄骨の製品名）																
11 押置型（PDS鋼線鉄骨の製品（購入品））																
12 押置型（鋼線鉄骨の製品名）																
13 押置型（PDS鋼線鉄骨の製品（購入品））																
14 ギムズ（鋼線鉄骨の製品名）																
15 ギムズ（PDS鋼線鉄骨）																
16 鋼線鉄骨（鋼線鉄骨）																
17 鋼線鉄骨（PDS鋼線鉄骨）																
18 ジョイント（鋼線鉄骨の製品名）																
19 ジョイント（PDS鋼線鉄骨の製品（購入品））																
20 鋼板（鋼線鉄骨の製品名）																
21 鋼板（PDS鋼線鉄骨の製品（購入品））																
22 門扉等の骨子にあたるもの（品目欄の右に具体名を入力してください。）																
23 合成皮革																
24 鋼線鉄骨アンカーフレームアンカーボルト																
25 連番工（工場で作成し、現地で設置した場合）																
26 モニメント（工場で作成し、現地で設置した場合）																
27 デザインの鋼板（工場で作成し、現地で設置した場合）																
28 デザインの照明ポール（工場で作成し、現地で設置した場合）																
29 セグメント板																
30 貯留槽（排水防止）																
31 その他（上記以外）（品目欄の右に具体名を入力してください。）																
2.当該二次製品材料費の算出方法																
27 デザインの鋼板																
28 デザインの照明ポール																
の使用実績のある場合、デザインされた同じ品目のかわりに同様の照映品を使用した場合は材料費を下書きに入れ																
前記二次製品材料費		デザインされた同じ品目のかわりに同様の照映品を使用した場合は材料費														
種別	品目	(名称)	規格	単位	数量	数量(円) (数量 × 単価)	金額(円) (数量 × 単価)	種別	不備の上乗減額	品目	規格	単位	数量	数量(円) (数量 × 単価)	金額(円) (数量 × 単価)	
							0									
開始年度 工事情報 一般事項 工事費 工期 施工環境 二次製品 二次製品(LED照明) 準備費 積算方式 ICT 確認 元請業データベース チェック 要確認一覧表																

『準備費』シート

Q.維持工事の場合はどうするか。

A. 工種に拘わらず、該当する内容について記入をお願いします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
2										
3			工事名							
4										
5			準備費に関する調査							
6			黄色塗りつぶし部分:入力必要箇所							
7			緑色塗りつぶし部分:黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可)							
8			その他の部分:シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。							
9			パスワードが要求される場合の対処方法:							
10			入力箇所が間違っているためであり、指定箇所(黄色塗りつぶし部分)に入力して下さい。							
11										
12			I 本工事用地の取得時において、立木の補償等を行いましたか。							
13				※						
14			以下の項目に答えてください。							
15			II 補償の方法							
16			(地権者が複数等、補償方式も複数ある場合、複数回答可)							
17			以下の補償の方法から該当するものに“○”をつけてください。							
18					1	伐採補償				
19					2	伐採控除補償				
20					3	取得補償				
21					4	その他				
22					(下記に具体的に記入してください。)					
23										
24										
25										

『積算方式』シート

Q.どのような場合に記入が必要なのか。

A.対象工事の発注形式に則って記入して下さい。（無ければ「×」を記入して下さい）。

2		工事名			
3					
4					
5		積算方式に関する調査			
6		1 各種算方式の有無について「○」又は「×」を入力してください。			
7		2 上記で「○」を入力した場合は、項目数と項目内容を入力してください。			
8		3 各項目の内容の記入方法は、直接工事費は細目（1～4）、間接工事費は、積上げ項目名・費目名を入力してください。			
9					
10		Ⅰ. 見積り活用積算方式		Ⅱ. 間接工事費実績変更方式	
11		見積り活用積算方式で見積りを採用した工事	※	間接工事費実績変更方式の有無	※
12		見積採用項目数		間接工事費実績変更項目数	
13		見積採用項目の内容		間接工事費実績変更項目の内容	
14		1		1	
15		2		2	
16		3		3	
17		4		4	
18		5		5	
19		6		6	
20		7		7	
21		8		8	
22		9		9	
23		10		10	

開始画面 工事情報 一般事項 工事費 工期 施工環境 二次製品 二次製品（LED照明） 準備費 積算方式 ICT 確認 元請調査票データ チェック 要確認一覧

『確認』シート

Q. 共通仮設費の金額が自動計算と合わない。

A. 入力に間違いが無い場合で、自動計算結果と合わない場合は、理由回答欄に理由を記載して下さい
 ※2工種以上の複合工事、積算システム上項目がない場合や、積算年度が違うと自動計算と合わない場合があります（調査票はあくまで単一工種及び年度での数式である為）。

工 事 名					
1. 共通仮設費積算対象金額と共通仮設費率分の確認 ・入力金額と自動計算値が一致しているか確認してください。 ・チェック結果欄に「エラー」が表示される場合は、「エラーの確認内容」欄及び、自動計算結果(自動計算値)を参考に入力金額を確認してください。 ・入力金額確認後、自動計算値と一致しない場合は、理由回答欄に理由を入力してください。					
費 目	入力金額 (千円)	自動計算値 (千円)	チェック結果	エラーの確認内容	理由回答欄
共通仮設費積算対象金額	0	0	エラー	共通仮設費積算対象金額が「0」です。 「工事費」シートで金額を入力してください。	
共通仮設費の率分	0	0	エラー	共通仮設費の率分が「0」です。 「工事費」シートで金額を入力してください。	
※「共通仮設費積算対象金額」自動計算結果 共通仮設費積算対象金額(自動計算値) = + + + + + - 0 「共通仮設費積算対象金額」自動計算値 = 「直接工事費」+「支給材料費」+「無償貸与機械等評価額」+「事業損失防止施設費」 +「準備費中の処分費」-「共通仮設費の対象額に含まない費用」					
※「共通仮設費の率分」自動計算結果 「地域特性」又は「工種」が未入力のため計算エラーです。 「共通仮設費率分」自動計算値 = 「共通仮設費積算対象金額」×(「工種コード」による共通仮設費率(%) + 「地域特性コード」による補正値) × 「復興補正係数」					
項 目	入力シート	入力値			
工種コード	一般事項		←未入力です。「一般事項」シートで「工種」を入力してください。		
地域特性コード	一般事項		←未入力です。「一般事項」シートで「地域特性」を入力してください。		
海上輸送補正の有無	一般事項		←未入力です。「一般事項」シートで「海岸輸送補正の有無」を入力してください。		
共通仮設費積算対象金額	工事費		←未入力です。「工事費」シートで「共通仮設費積算対象金額」を入力してください。		
共通仮設費の率分	工事費		←未入力です。「工事費」シートで「共通仮設費の率分」を入力してください。		

開始画面 工事情報 一般事項 工事費 工期 施工環境 二次製品(港湾) 準備費 ICT 確認 元請調査票データ チェック 要確認一覧

『チェック』シート

Q.要確認について。

A1.各項目の積算額と実績の金額差が大きいと表示される。対処については元請担当者にヒアリングを行い、間違いがある場合は、**元請調査票の修正を指示してください。**

また、確認の結果間違いがない場合は、その内容を確認欄に記載して下さい。

A2.下請者については、一般管理費の金額が大きい（工事価格に対して+20%以上）と要確認が表示されるので、入力漏れが無いか確認して下さい。
+20%を超える場合は計上漏れの可能性があります。計上漏れがある場合は、**元請調査票の修正を指示してください。**

A3.共通仮設費に関連する項目で表示された場合同シート内の元請ファイル実績金額で、率分と積上の内訳が誤っていないか確認する（積上げが全て0になっていないか、率分のところを積上げに計上していないか確認する）。